

プレセッター柱脚金物(一体型) 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

用途

- 基礎と柱の緊結に使用する柱脚金物です。
- ホールドダウン金物の代わりに使用する柱脚金物です。

特長

- 無垢材で30.1kNまでの引抜き耐力に対応可能です。
- スプルー스集成材で41.3kNまでの引抜き耐力に対応可能です。
- 一体型柱脚金物のため、従来より施工性が格段に向上します。
- 本体、専用座金はクロムフリー高耐食金属表面処理の「プロイズ」を採用し、環境に配慮した製品です。



ハウスプラス確認検査(株)性能試験

プレセッター柱脚金物(一体型)

柱材	短期基準接合引張耐力 (Pot)
スプルー스集成材 (E95-F315)	41.3kN
スギ無垢材	30.1kN

接合具(付属品)

	105用	120用
プレセッター柱脚金物(一体型) プレセッターSU (PS-OPSU)	専用座金φ46(M16)……………1枚 位置合わせシート(105用)……………1枚 ドリフトピン(DP-103)……………1本※注1	専用座金φ46(M16)……………1枚 位置合わせシート(120用)……………1枚 ドリフトピン(DP-118)……………1本※注1
プレセッター柱脚金物(一体型) プレセッター プレセッタータイプM (PS-OP)	専用座金φ46(M16)……………1枚 位置合わせシート(105用)……………1枚 ドリフトピン(DP-103)……………1本※注1 中ボルト(MB-110ナット無)……………1本※注2 中ボルト(MB-125ナット無)……………1本※注3 スプリングワッシャー(M12用)……………1枚 六角ナット(M12)……………1個 丸座金(4.5×45φ)……………1枚	専用座金φ46(M16)……………1枚 位置合わせシート(120用)……………1枚 ドリフトピン(DP-118)……………1本※注1 中ボルト(MB-125ナット無)……………1本※注2 中ボルト(MB-140ナット無)……………1本※注3 スプリングワッシャー(M12用)……………1枚 六角ナット(M12)……………1個 丸座金(4.5×45φ)……………1枚

※注1 プレセッターSUまたはプレセッター、プレセッタータイプMが取り付けず、単体でご使用の場合。 ※注2 片側からプレセッターまたはプレセッタータイプMが取り付け仕様の場合。
※注3 両側からプレセッターまたはプレセッタータイプMが取り付け仕様の場合。

アンカーボルトについて

柱の引抜き力が37kNを超える場合は必ず高耐力フレックスアンカーボルトをご使用ください。また、運用耐力は柱脚金物の耐力に準じます。

■コルトアンカーボルト(CA16-33)

対応可能引張耐力：37.0kN以下

仕様条件

埋め込み長さ (mm)	240以上*
コンクリート幅 (mm)	135以上
コンクリート設計基準強度 (N/mm ²)	Fc=18以上

*アンカー笠下からの長さ
本製品と併用した場合の埋め込み長さは、右図をご参照ください。

■高耐力フレックスアンカーボルト(PZ-FA16-37)

対応可能引張耐力：75.0kN以下

仕様条件

埋め込み長さ (mm)	300以上*
コンクリート設計基準強度 (N/mm ²)	Fc=21以上

*アンカー笠下からの長さ
本製品と併用した場合の埋め込み長さは、右図をご参照ください。

■納まり図

() 内の寸法は高耐力フレックスアンカーボルト

●コルトアンカーボルト L=330タイプ仕様条件

土台材	105または120	105または120
パッキン	パッキン無	パッキン有(20mm)
L1(埋め込み長さ)	270~290(mm)	270(mm)
L2	40~60(mm)	60(mm)

●高耐力フレックスアンカーボルト L=370タイプ仕様条件

土台材	105または120	105または120
パッキン	パッキン無	パッキン有(20mm)
L1(埋め込み長さ)	310~330(mm)	310(mm)
L2	40~60(mm)	60(mm)

納まり図

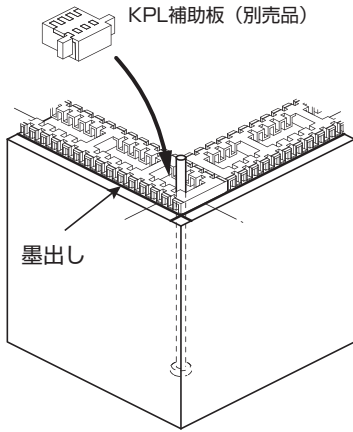
	梁受金物なし	梁受金物あり (片側)	梁受金物あり (両側)
プレセッターSU		PS座付ボルト(別売品) 土台幅:105→L=125 土台幅:120→L=140 	中ボルト(別売品) 土台幅:105→L=130 土台幅:120→L=145
プレセッタータイプM		スプリングワッシャー 中ボルト 土台幅:105→L=110 土台幅:120→L=125 丸座金 PS-10(別売品) 	スプリングワッシャー 中ボルト 土台幅:105→L=125 土台幅:120→L=140 PS-10(別売品) PS-10(別売品)

プレセッター柱脚金物(一体型) 取扱説明書

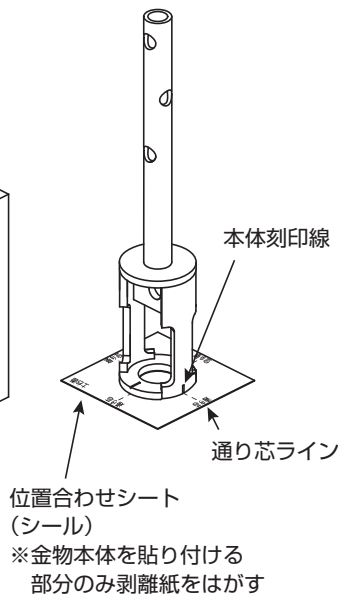
施工方法

- ① 基礎に土台の墨出しをし、基礎パッキンを配置します。

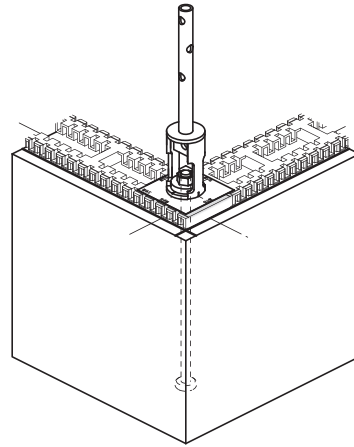
※キソパッキンロングまたはモルタル止付キソパッキンロングを使用する場合は、本製品を安定させるため、KPL補助板の使用をおすすめいたします。



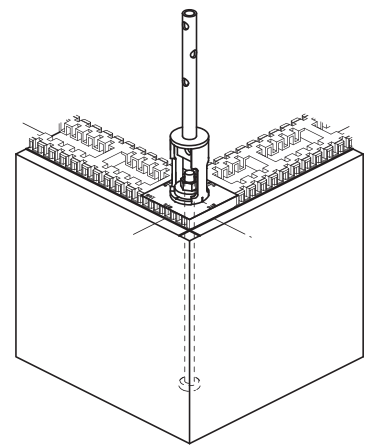
- ② 本体の刻印線を位置合わせシートの通り芯ラインに合わせて、貼り付けます。



- ③ 本体にアンカーボルト(M16)を通し、付属の専用座金を介してナット(M16)で仮締めします。



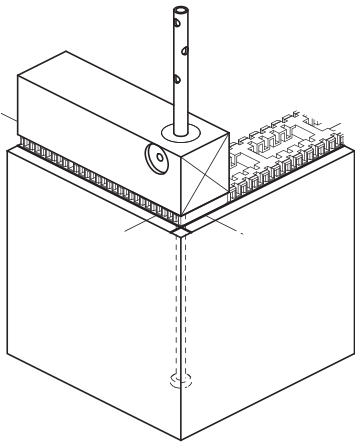
- ④ 金物の向きを確認し、位置合わせシートの外側と基礎の墨出しラインを合わせ、ナット(M16)を増し締めします。



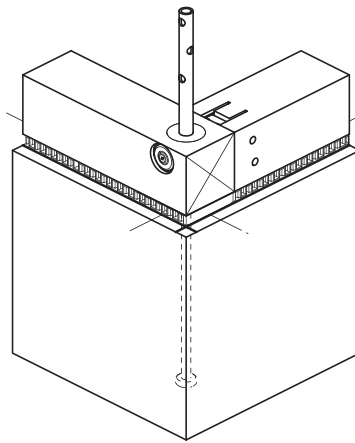
【注意】
金物に取付け向きがあります。ご注意ください。

【注意】
基礎パッキン等を敷いた場合、締め付け過ぎると柱側のドリフトピンが打てなくなる恐れがあります。締め付け過ぎないようにご注意ください。

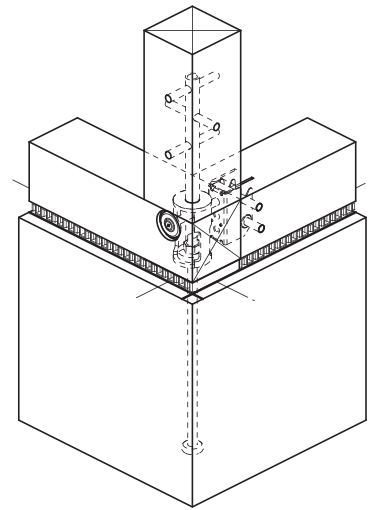
- ⑤ 土台の穴($\phi 60$)を本体に通し、土台を設置します。



- ⑥ 金物の筒の天端と土台天端が合っていることを確認してから、土台と本体をドリフトピンまたはボルトで固定します。
※土台に使用する接合具は用途に応じて選択してください。



- ⑦ 柱の穴($\phi 22$)を金物のパイプ部に差込みます。
⑧ 柱の向きを確認し、ドリフトピンで接合します。



注意事項

- 必ず付属の専用座金、ドリフトピンで接合してください。
※ドリフトピンの本数を減らしたり、付属部品以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の耐力が得られませんのでご注意ください。
- 金物の向きに注意して取付けてください。
- 柱の引抜き力が37kNを超える場合は必ず高耐力フレックスアンカーボルトをご使用ください。また、運用耐力は柱脚金物の耐力に準じます。
- 別売品の高耐力フレックスアンカーボルトを使用する場合、ナットは必ずアンカーボルトに付属されている高耐力ナットをご使用ください。
- ケガに注意!!手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- 金物は所定の位置に取り付けてください。
- 金物の干渉に注意しご使用ください。
- 接合・締め付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防錆・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。

BXカネシン株式会社

営業本部 / 〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-53-10 朝日生命新小岩ビル3階 Tel.03-3696-6781 Fax.03-3696-6770
技術的なご相談は / BXカネシンCSセンター Tel.03-5671-1077

K20230906A